

セグメント情報／損益の状況

Kirayaka Bank

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に行う対象となっているものであります。

当行グループは、主として国内において、当行が行う銀行業務を中心に、連結子会社等においてリース業務、クレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等を行っております。

当行グループは、「銀行業」を報告セグメントに、リース業務は「リース業」を報告セグメントとしております。また、連結子会社等が行うクレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等は、その金額の全体に対する重要性を考慮し「その他」に含めております。「銀行業」は主に預金業務、貸出業務、為替業務、有価証券投資業務等を行っており、「リース業」は、主に機械・器具備品等のリース取引を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は経常利益であります。また、セグメント間の内部経常収益は、第三者取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

	2019年9月期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	9,142	3,035	12,177	312	12,490	△ 47	12,442
セグメント間の内部経常収益	281	28	309	242	551	△ 551	—
計	9,423	3,064	12,487	554	13,042	△ 599	12,442
セグメント利益	572	165	737	20	757	△ 259	498
セグメント資産	1,373,823	18,085	1,391,908	45,357	1,437,266	△ 51,876	1,385,390
セグメント負債	1,310,173	12,171	1,322,345	43,920	1,366,265	△ 47,930	1,318,335
その他の項目							
減価償却費	630	3	634	11	645	—	645
資金運用収益	7,363	0	7,363	60	7,424	△ 249	7,174
資金調達費用	122	46	168	3	172	△ 14	157
持分法投資利益	—	—	—	9	9	—	9
持分法適用会社への投資額	—	—	—	123	123	—	123
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	127	11	139	4	143	—	143

(注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。

3. 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客に対する経常収益の調整額△47百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
 - セグメント利益の調整額△259百万円は、セグメント間消去△235百万円及びのれんの償却△24百万円等です。
 - セグメント資産の調整額△51,876百万円は、セグメント間消去△51,948百万円及びのれんの未償却残高72百万円です。
 - セグメント負債の調整額△47,930百万円は、セグメント間消去です。
 - 資金運用収益の調整額△249百万円は、セグメント間消去です。
 - 資金調達費用の調整額△14百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	9,836	3,102	12,938	304	13,243	△ 19	13,223
セグメント間の内部経常収益	185	30	215	228	443	△ 443	—
計	10,021	3,132	13,153	533	13,687	△ 463	13,223
セグメント利益	496	173	669	38	708	△ 172	535
セグメント資産	1,380,726	17,534	1,398,261	40,442	1,438,704	△ 45,625	1,393,078
セグメント負債	1,321,906	10,882	1,332,789	39,014	1,371,803	△ 41,493	1,330,309
その他の項目							
減価償却費	398	3	401	7	409	—	409
資金運用収益	8,486	0	8,486	53	8,540	△ 163	8,376
資金調達費用	97	40	137	3	141	△ 16	125
持分法投資利益	—	—	—	14	14	—	14
持分法適用会社への投資額	—	—	—	129	129	—	129
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	272	0	273	0	273	—	273

(注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。

3. 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客に対する経常収益の調整額△19百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
 - セグメント利益の調整額△172百万円は、セグメント間消去△148百万円及びのれんの償却△24百万円等です。
 - セグメント資産の調整額△45,625百万円は、セグメント間消去△45,649百万円及びのれんの未償却残高24百万円です。
 - セグメント負債の調整額△41,493百万円は、セグメント間消去です。
 - 資金運用収益の調整額△163百万円は、セグメント間消去です。
 - 資金調達費用の調整額△16百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

国内・国際業務部門別粗利益

(単位：百万円)

	2019年9月期			2020年9月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	7,223	18	7,241	8,373	16	8,389
資金運用収益	7,345	19	7,363	8,470	17	8,486
資金調達費用	122	1	122	97	1	97
役務取引等収支	648	0	649	579	0	579
役務取引等収益	1,481	0	1,482	1,432	0	1,432
役務取引等費用	832	0	833	852	0	852
その他業務収支	150	0	150	△ 1,189	△ 1	△ 1,191
その他業務収益	740	0	740	520	—	520
その他業務費用	589	—	589	1,709	1	1,711
業務粗利益	8,022	18	8,040	7,763	14	7,778
業務粗利益率	1.23%	0.41%	1.23%	1.20%	0.32%	1.20%

(注) 1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引でございます。なお、当行は、特定取引勘定非設置行であるため、特定取引収支は該当ございません。

2. 資金調達費用は金銭の信託運用見合費用（2019年9月期一百万円、2020年9月期0百万円）を控除して表示しております。

3. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の数値は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息でございます。

4. 業務粗利益率=業務粗利益/資金運用勘定平均残高×100×365/183

業務純益

(単位：百万円)

	2019年9月期	2020年9月期
業務純益	1,082	1,015
実質業務純益	1,231	1,358
コア業務純益	1,131	2,621
コア業務純益（投資信託解約損益を除く。）	958	1,169

業務純益

1. 業務純益=業務収益－（業務費用－金銭の信託運用見合費用）

業務収益=資金運用収益＋役務取引等収益＋その他業務収益

業務費用=資金調達費用＋役務取引等費用＋その他業務費用＋一般貸倒引当金繰入額＋経費（臨時的経費を除く）

2. 実質業務純益=業務純益－（一般貸倒引当金繰入前）

3. コア業務純益=実質業務純益－国債等債券損益